

2015 年 4 月～現在までに当院にて慢性腎臓病ため腎生検を受けられた患者様へ
当院では、慢性腎臓病（CKD）の診療向上を目的として、腎生検組織を用いた研究を実施
しています。本研究は、研究倫理審査委員会の承認を受けて実施するものです。

課題名 CKD 患者における腎 SGLT2 発現と SGLT2 阻害薬の効果に関する研究

1. 研究の対象

2015 年 4 月～現在までに、当院で慢性腎臓病の診断のため腎生検を受けられ、その後
SGLT2 阻害薬（ダパグリフロジン、エンパグリフロジン、カナグリフロジン）による治療
を受けられた患者さんを対象としています。年齢は問いません。

2. 腎生検について

腎生検は、腎臓病の原因を調べるために腎臓の一部を採取し、顕微鏡で詳しく観察す
る検査です。血液検査・尿検査・画像検査だけでは診断が難しい場合に行われます。

3. 研究目的・方法

SGLT2 阻害薬は慢性腎臓病の進行を抑える効果が示されていますが、
腎組織にどの程度 SGLT2 が発現しているか、またその発現量が治療効果に影響するかは未
解明です。

本研究では、腎生検組織の一部を用いて、抗 SGLT2 抗体による免疫染色およびデジタル解
析を行い、腎 SGLT2 発現量と腎機能低下速度（eGFR slope）・腎予後との関連を調べるこ
とを目的としています。

※本研究のために新たに血液や尿を採取することはありません。

※診療で得られた情報と保存されている腎生検組織のみを使用します。

※本研究のために新たに血液や尿を採取することはありません。

4. 研究期間

研究倫理審査委員会承認日 ～ 2030 年 3 月 31 日

5. 研究に用いる情報

以下の診療情報を使用します。

- 年齢、性別、身長、体重、血圧、脈拍
- 原疾患、既往歴、内服薬
- 採血検査、尿検査、心電図、レントゲン、CT、エコーなど
- 経過中の診療情報および転帰
- 腎生検で得られた病理組織（保存されているものの一部）

収集した情報はすべて匿名化し、個人が特定されない形で研究に使用します。新たな検査や採血は行いません。

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問がありましたら、下記までお問い合わせください。また、患者さんまたは代理人の方が希望される場合、他の患者さんの個人情報や知的財産を損なわない範囲で、研究計画書や関連資料を閲覧できます。

本研究への利用を希望されない場合（オプトアウト）は、下記までお申し出ください。申し出があった場合、その方の診療情報・腎生検組織は研究に使用しません。診療上の不利益は一切ありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

東京都板橋区栄町 35 番 2 号

電話：03-3964-1141 FAX：03-3964-1982

E-Mail: takashi_takei@tmghig.jp

研究責任者：

東京都健康長寿医療センター

腎臓内科・透析科部長 武井 卓